

## 参考資料6 宜野湾市における現況

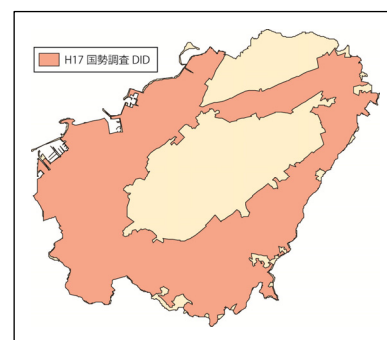
ここでは、「宜野湾市の現況」として、平成 22 年度成果より抜粋するとともに、一部データ更新を行ったものについて整理している。

### 1. 位置・地勢

◆那覇市と沖縄市との間に位置し、本島中南部の主要交通軸上にある。

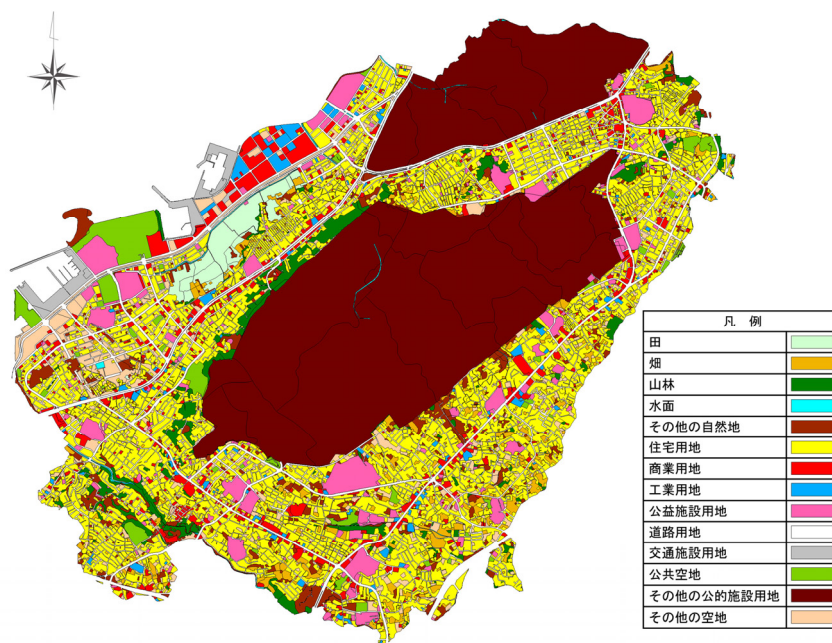


図一 宜野湾市の位置



図一 DID

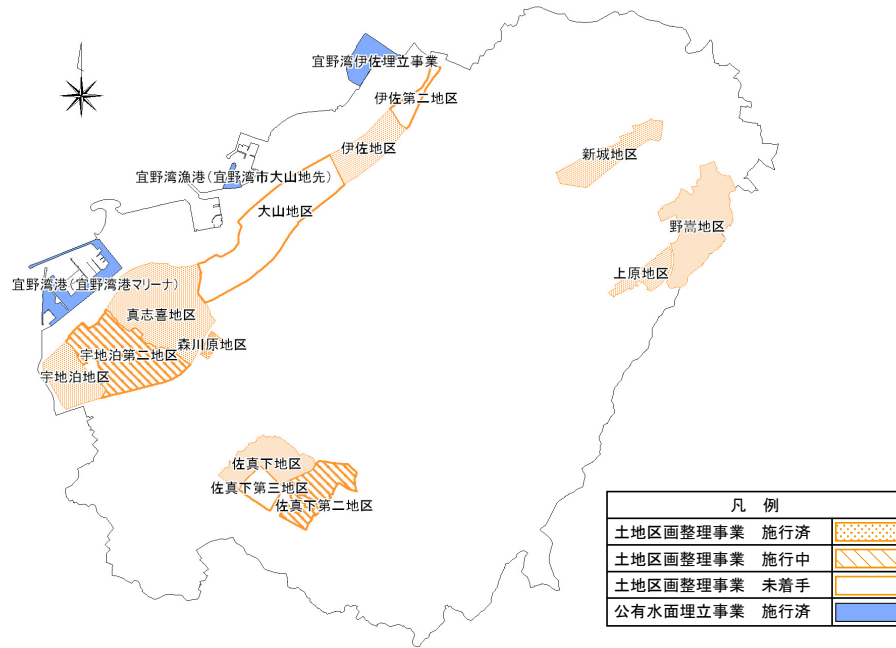
- ◆市域の中央に普天間飛行場が位置している。
- ◆国道や県道の沿道に商業系の土地利用が見られる。
- ◆基地を除く市域のほぼ全域が DID（人口集中地区）となっている。



図一 土地利用状況

資料：那覇広域都市計画基礎調査（平成 18 年）

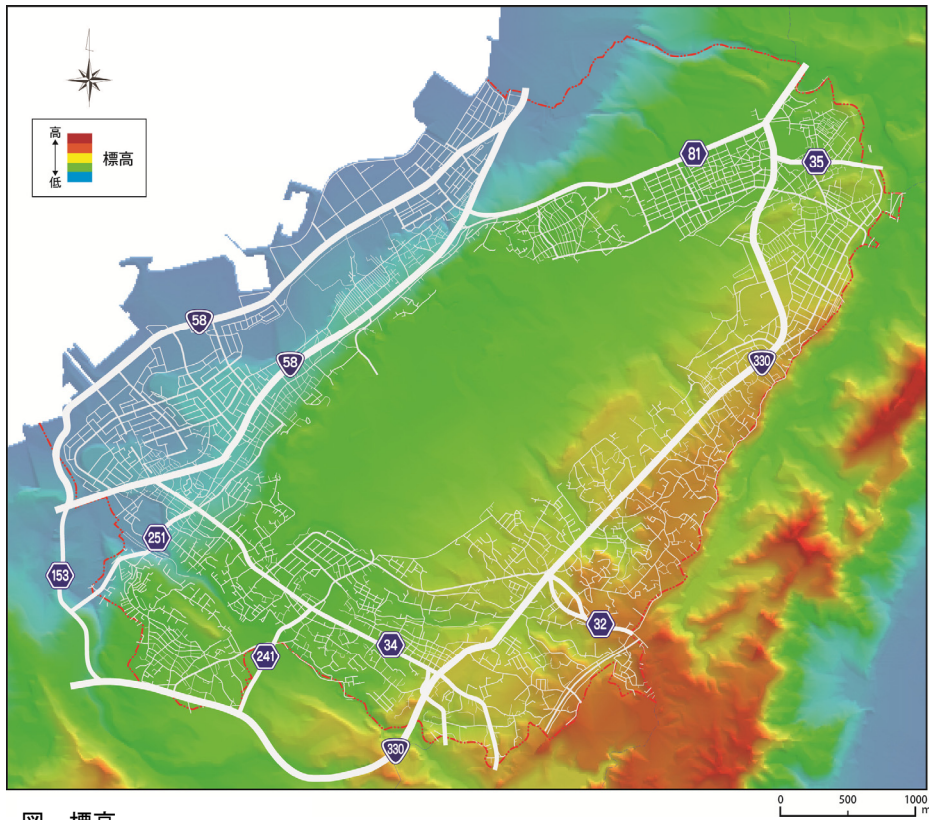
◆土地区画整理事業などの市街地開発は市域西部の方が進んでいる状況にある。



図一市街地開発状況

資料：那覇広域都市計画基礎調査（平成 18 年）

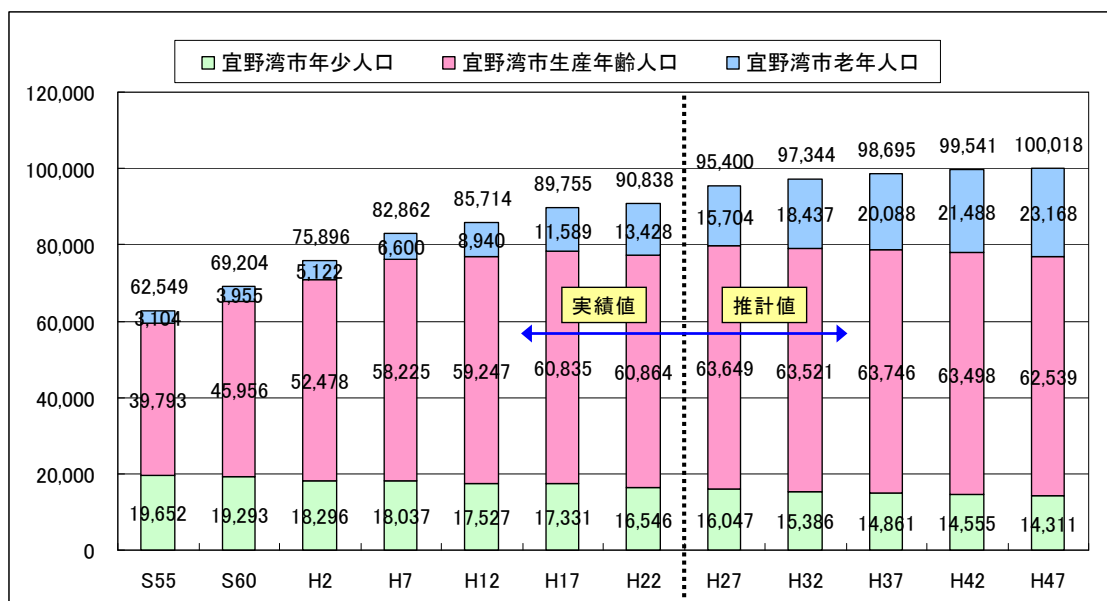
◆市域の西部と東部で標高の差が生じている。



図一標高

## 2. 人口・産業

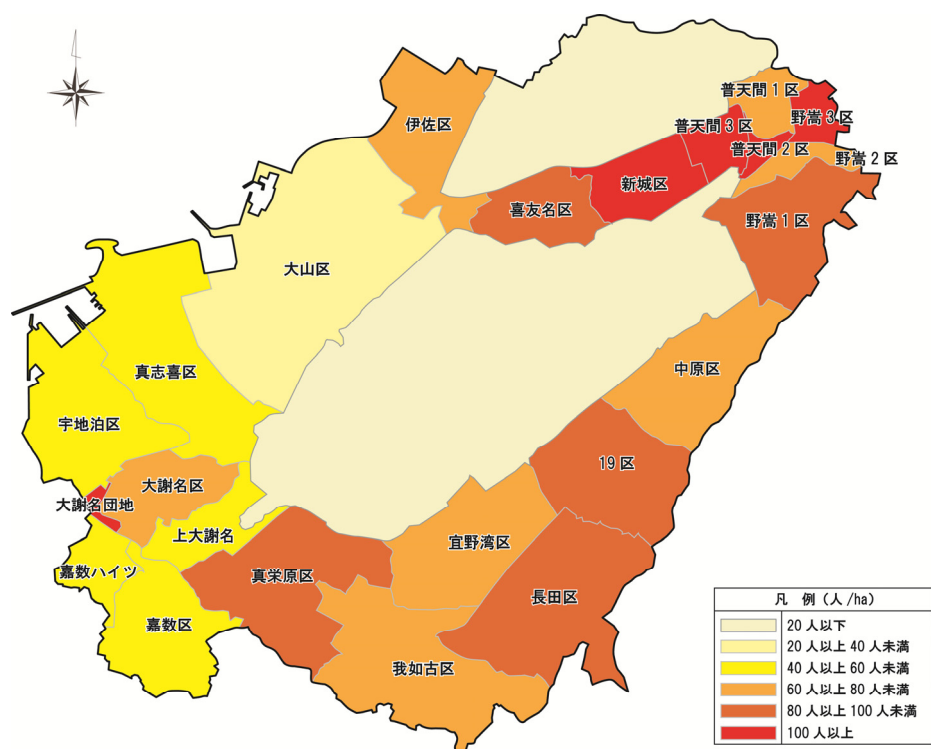
◆人口は増加傾向にあるが、少子高齢社会の急速な進展が予測されている。



図一人口の推移

※年少人口（0～14歳）生産年齢人口（15～64歳）老年人口（65歳以上）  
資料：S55～H17は国勢調査（年齢不詳除く）、H22～H47は人口問題研究所推計値

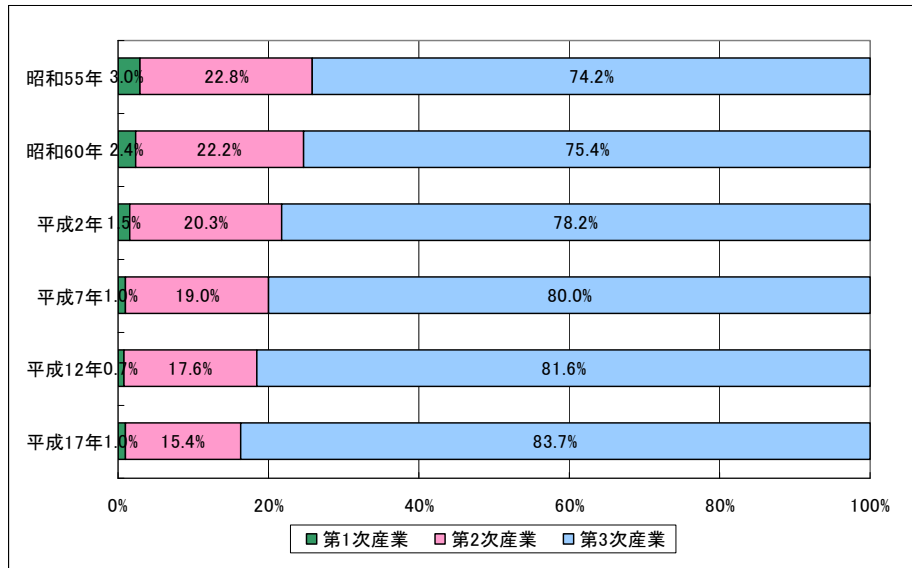
◆市域北部から東部において比較的人口密度が高くなっている。



図一自治会別人口密度

資料：宜野湾市人口統計

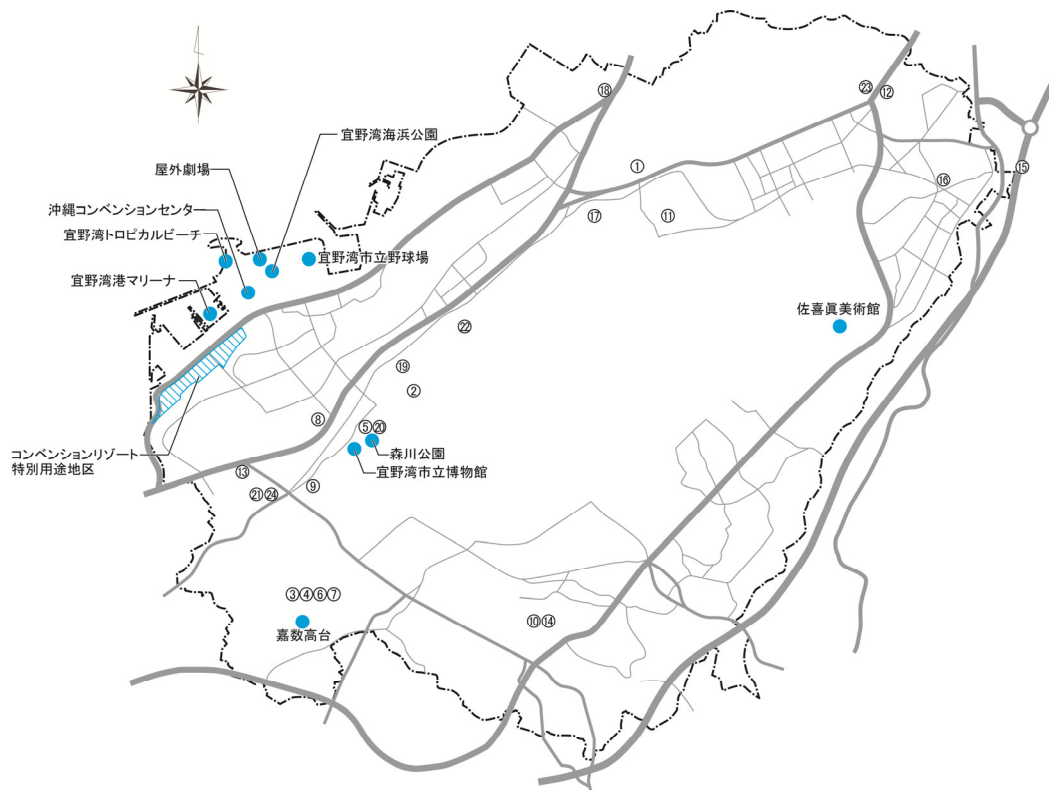
◆第3次産業に特化した産業構造となっている。



図一 産業別就業者構成比

資料：国勢調査

◆西海岸にリゾート観光施設やコンベンションセンターなどが集積している。

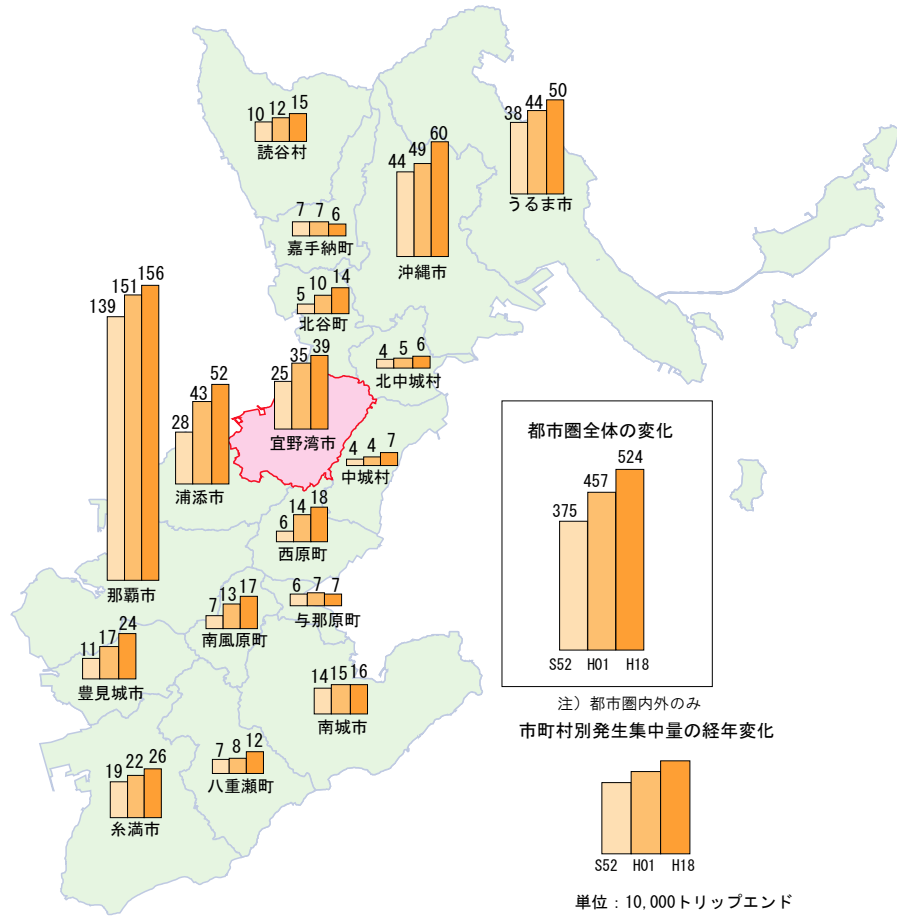


図一 観光施設の位置

注：図中○は指定文化財の分布位置

### 3. 発生集中量

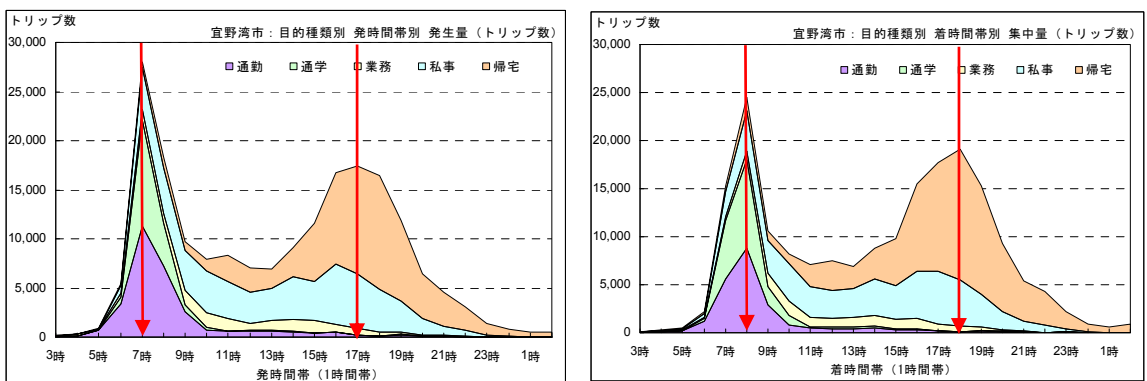
◆本市のみならず、中南部都市圏全体で発生集中量が増加傾向にある。



図一市町村別発生集中量の推移

資料: 第3回中南部都市圏パーソントリップ調査

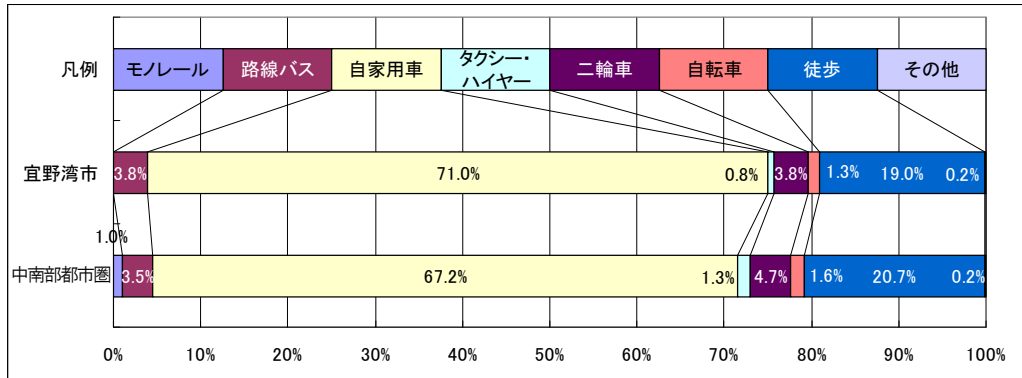
◆朝、夕の発生集中量が非常に多くなっている。



図一目的別時間帯別発生集中量(宜野湾市)

資料: 第3回中南部都市圏パーソントリップ調査

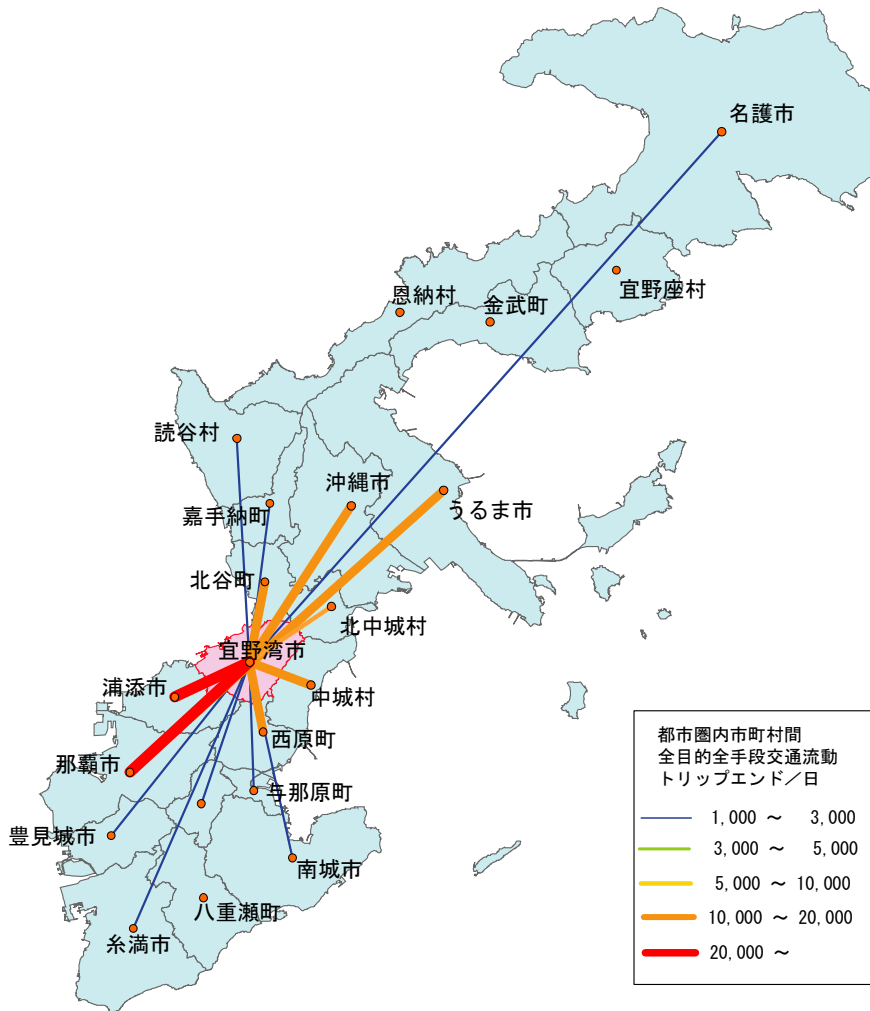
◆ 自家用車利用率 71.8%、公共交通 3.8%と自動車の分担率が高くなっている。



図一 交通手段分担率

資料：第3回中南部都市圏パーソントリップ調査

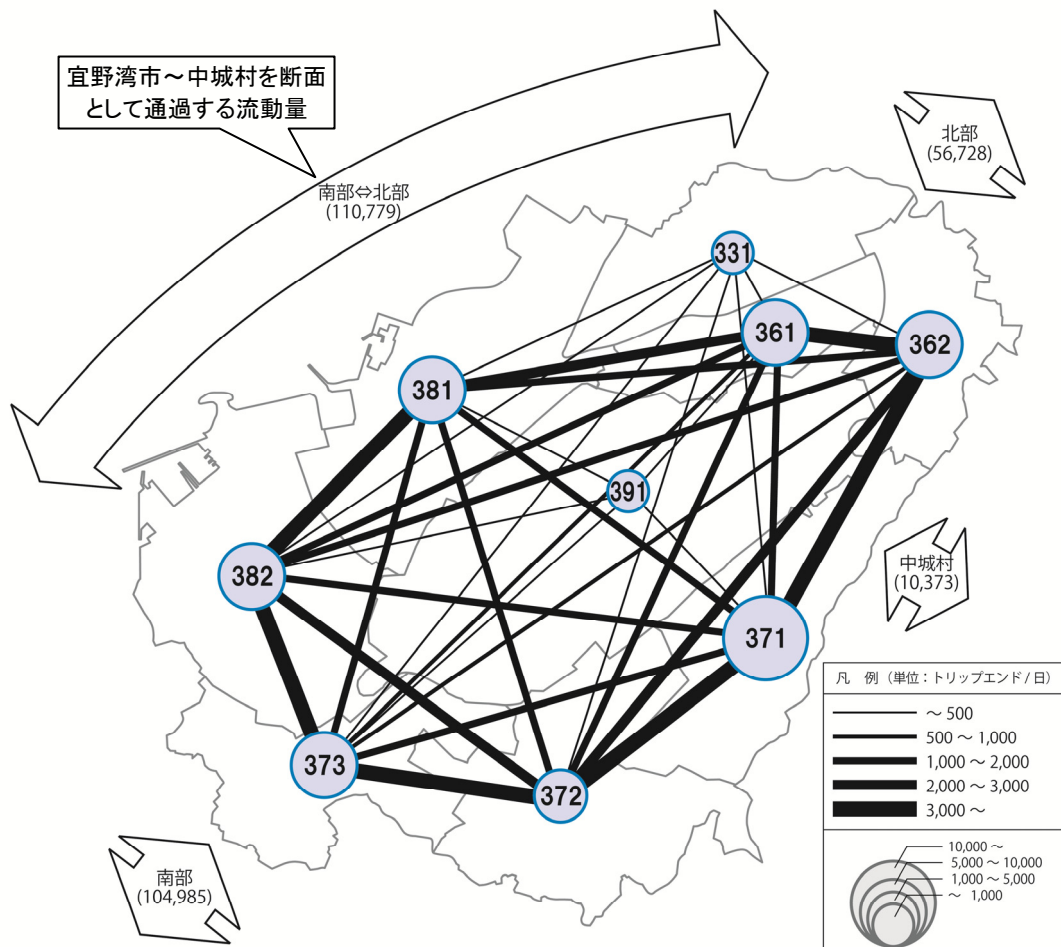
◆ 本市関連の交通流動は、那覇市、浦添市と強い結びつきにある。



図一 宜野湾市関連の交通流動(H18)

資料：第3回中南部都市圏パーソントリップ調査

◆本市内の交通流動は、比較的近い距離での流動が多くなっている。

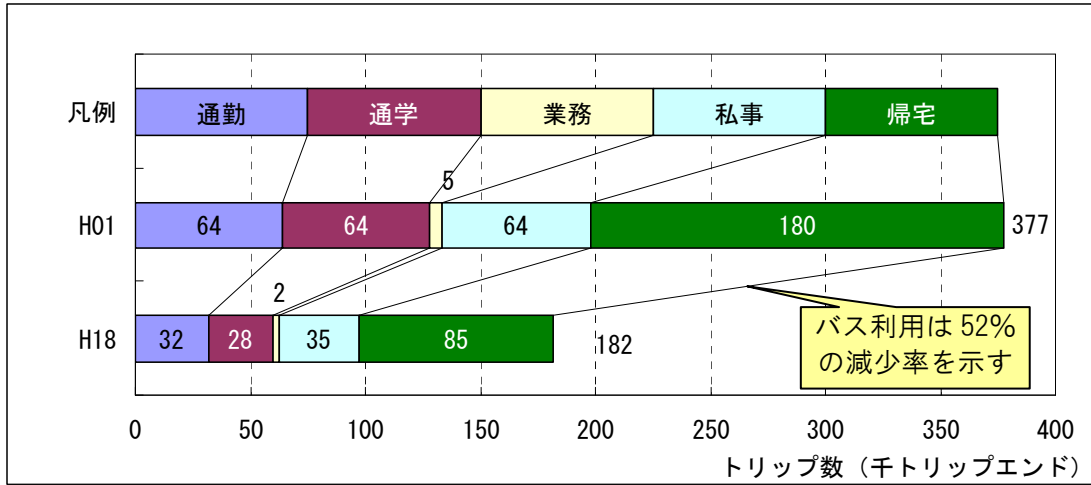


図一 宜野湾市内の交通流動 (H18)

資料：第3回中南部都市圏パーソントリップ調査

#### 4. 公共交通

◆本市が含まれる中南部都市圏において、平成元年から平成 18 年の間にバス利用のトリップ数は 52%の大幅な減少傾向にある。



図一バス利用の目的別発生集中量の推移(中南部都市圏) 資料：第3回中南部都市圏パーソントリップ調査

◆バス路線は南北方向の通過型となっている。

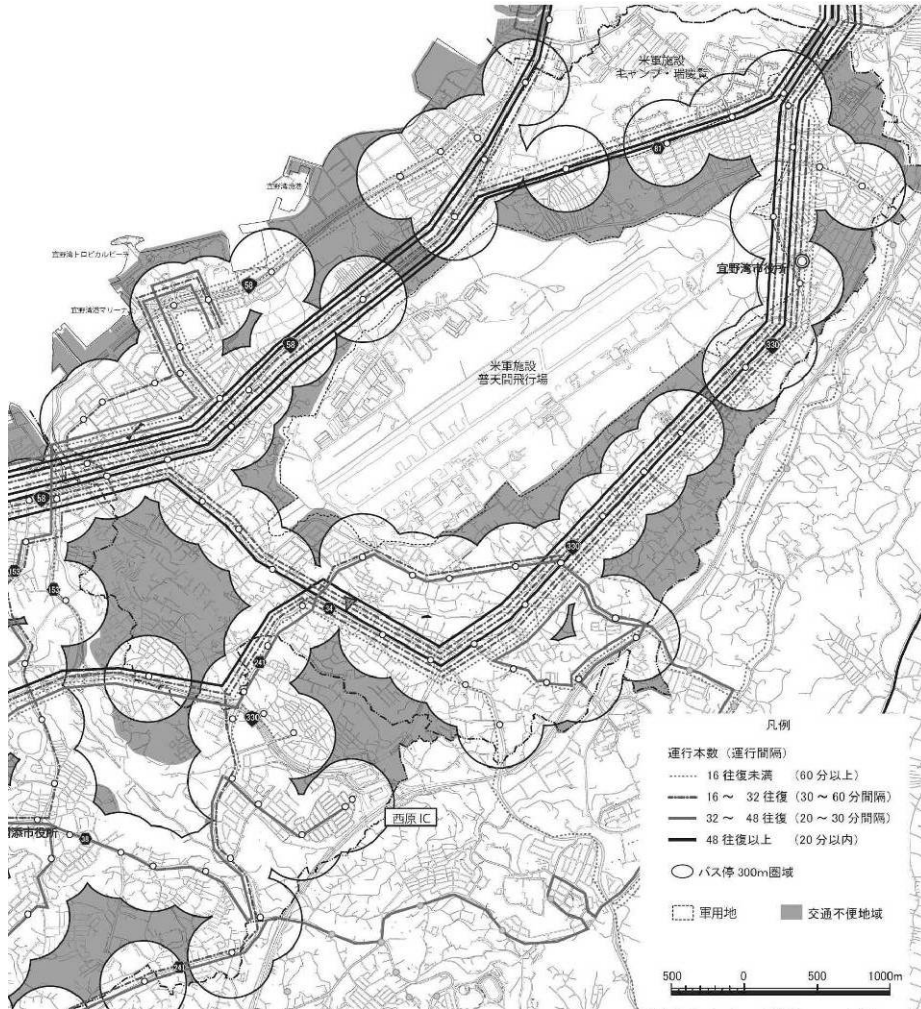


図一バス路線図

資料：バスマップ（沖縄県）



◆公共交通利用不便地域（バス停から300m以上）が市内に多く存在している。

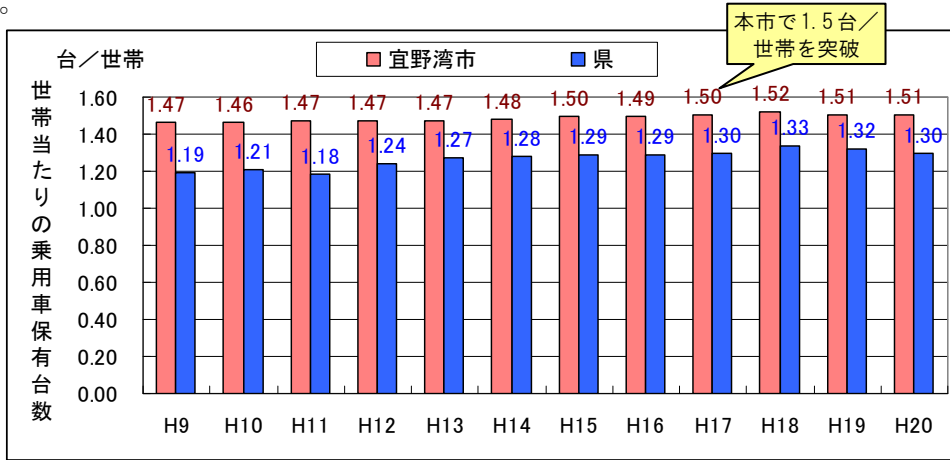


図一バス利用不便地域

資料：平成 21 年度沖縄本島中南部都市圏都市交通体系調査

## 5. 自動車交通

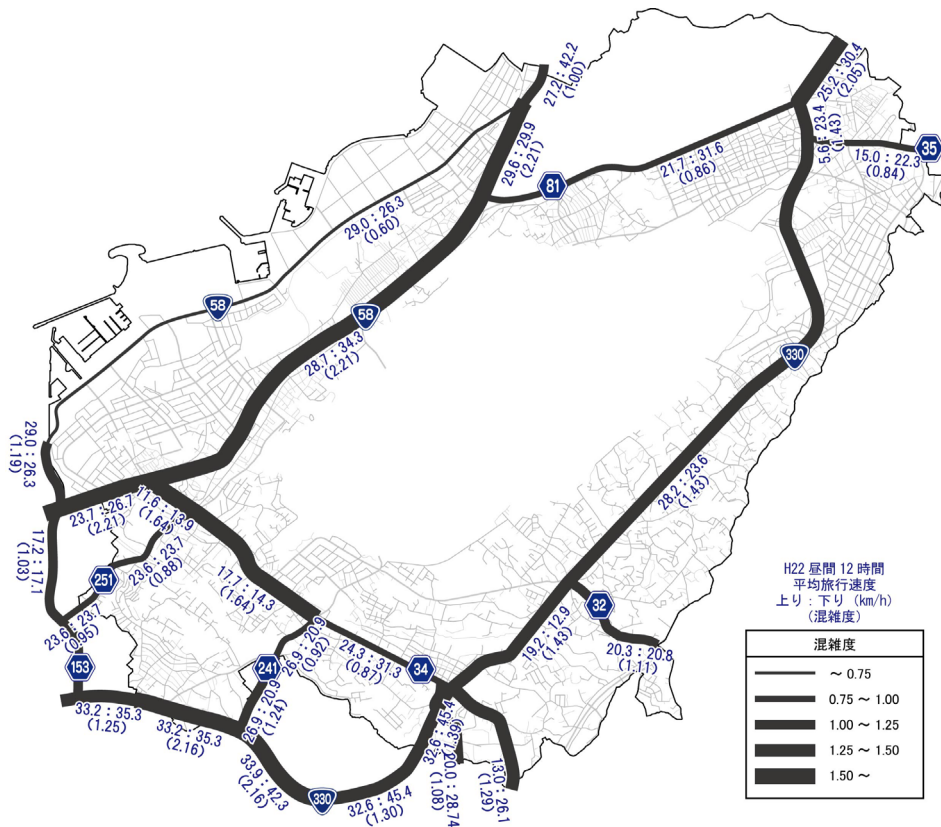
- ◆自動車保有台数は増加しており、本市では1.51台/世帯と県平均の1.3台/世帯を上回っている。



図一 世帯あたり自動車保有台数の推移

資料：沖縄県統計年鑑（市）、（財）自動車検査登録情報協会（県）、沖縄県企画部統計課（世帯数）

- ◆幹線道路に自動車交通が集中し、慢性的な混雑状況を呈している。



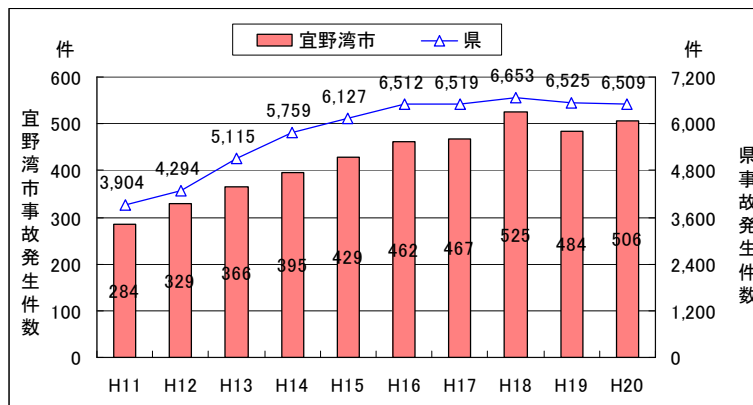
図一 平成22年混雑度と混雑時旅行速度

資料：平成22年道路交通センサス

混雑度	交通状況の推定
1.0未満	昼間12時間を通して、道路が混雑することがなく、円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.0~1.25	昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯1~2時間ある。何時間でも混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25~1.75	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過渡状態と考えられる。
1.75以上	慢性的混雑状態を呈する。

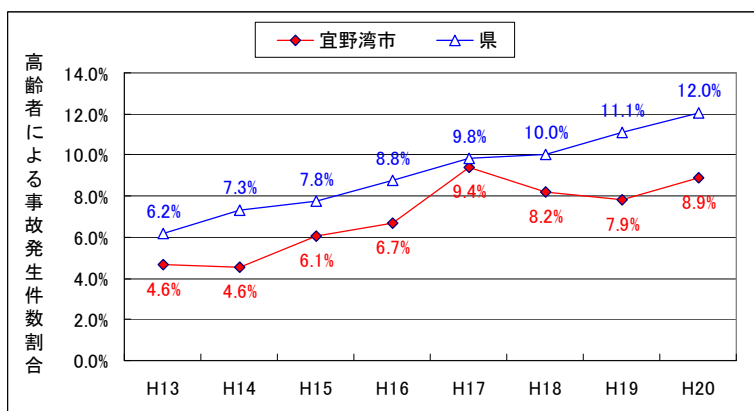
※「道路の交通容量」(社)日本道路協会より

◆交通事故件数は近年横ばい傾向にあるが、高齢者の事故が増加している。



図一交通事故発生件数の推移

資料：沖縄県警察本部「交通白書」

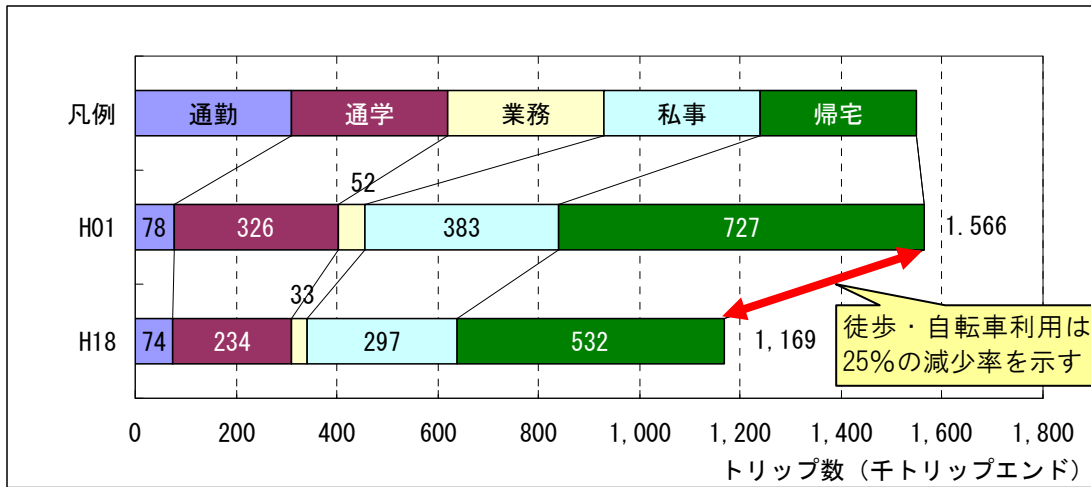


図一65歳以上の高齢者による交通事故発生件数割合の推移

資料：(財)交通事故分析センター

## 6. 自転車・歩行者

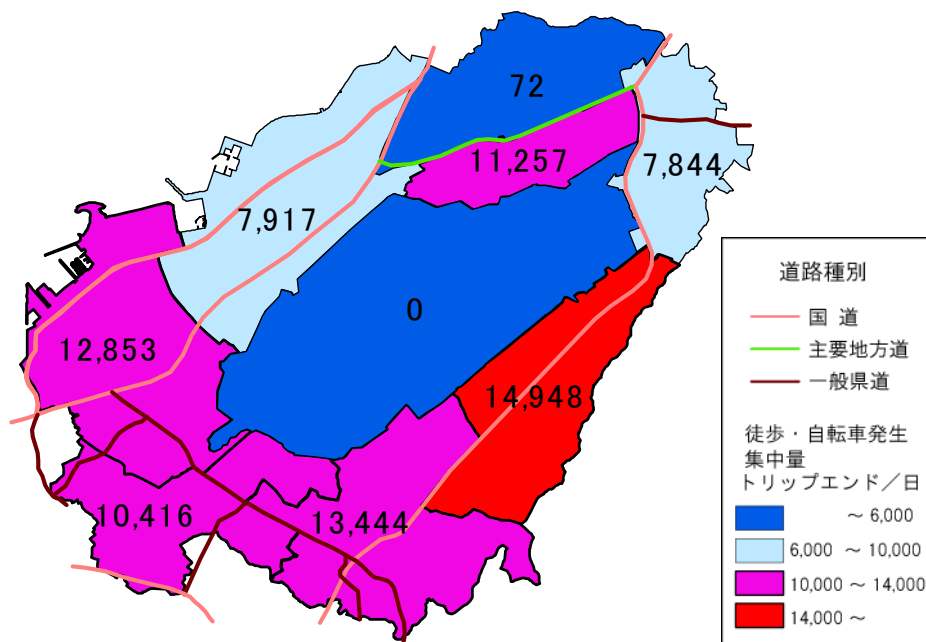
◆本市が含まれる中南部都市圏において、平成元年から平成 18 年の間に自転車・歩行者のトリップ数は 25%の減少傾向にある



図一 徒歩・自転車利用の目的別発生集中量の推移(中南部都市圏)

資料：第3回中南部都市圏パーソントリップ調査

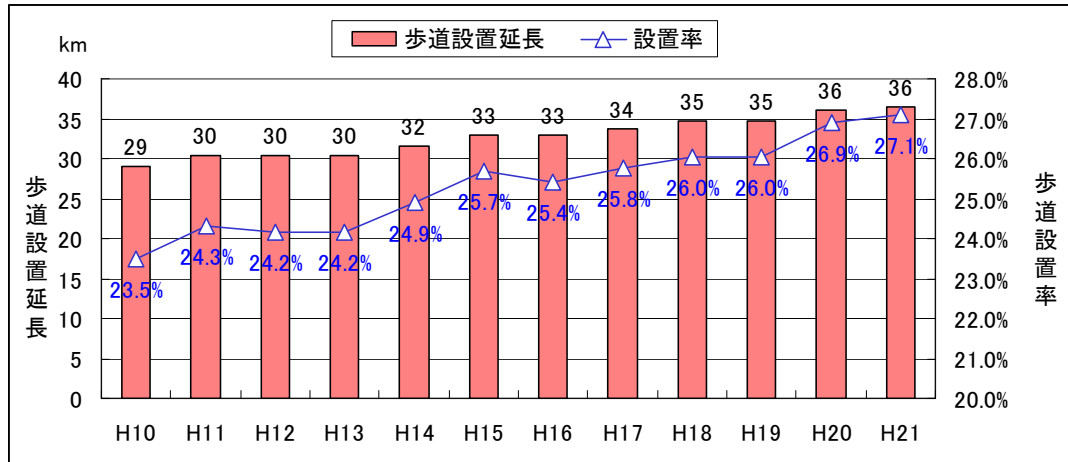
◆本市の徒歩・自転車発生集中量は、市域の東部で比較的多くなっている。



図一 本市のCゾーン別徒歩・自転車発生集中量

資料：第3回中南部都市圏パーソントリップ調査

◆市道における歩道設置率は約 27%となっている。



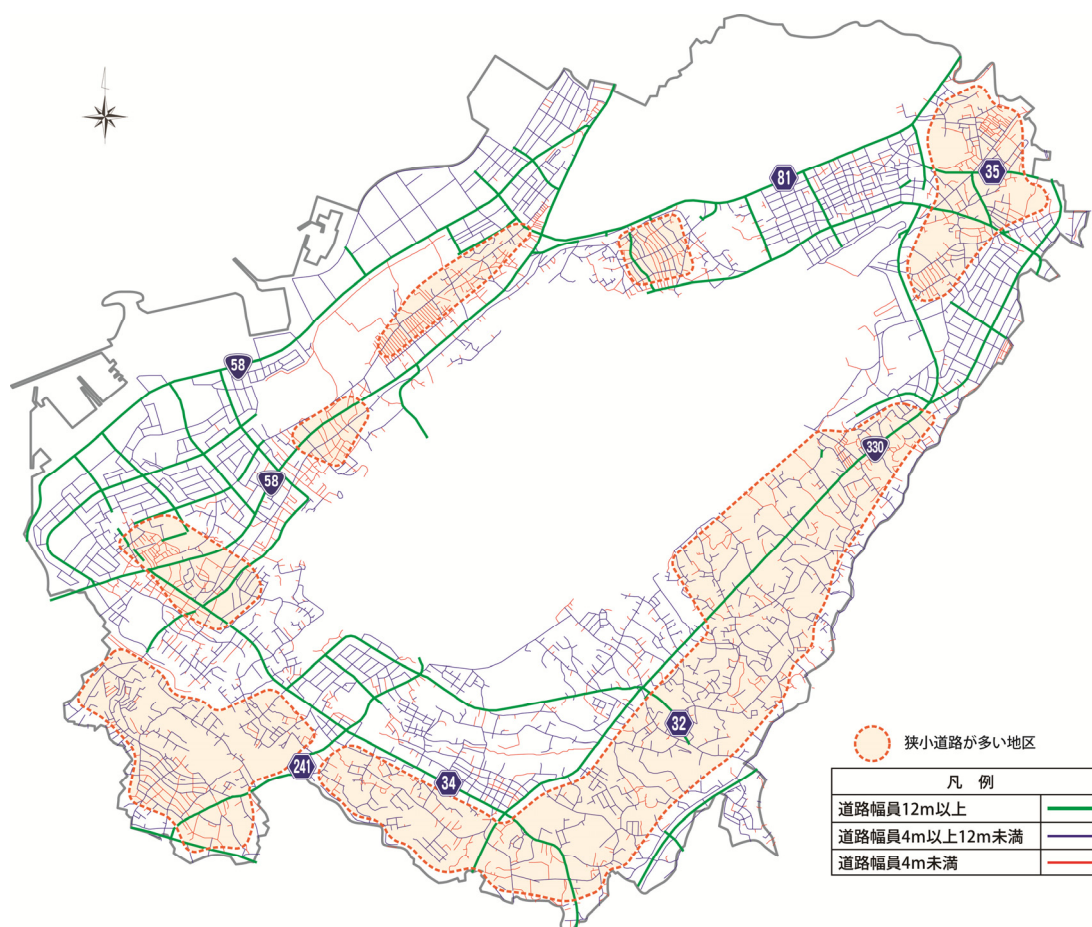
区分 年度	実延長 (m)	歩道等 設置道 路延長(m)	路線数	規格改良、未改良別車道幅員区分別実延長距離 (m)							改良率
				規 格 改 良				未 改 良			
				車道19.5m以上	車道13.0m以上	車道5.5m以上	車道5.5m未満	車道5.5m以上	車道3.5m以上	車道3.5m未満	
平成11年	124,903	30,368	439	104	796	41,511	69,327	1,242	5,936	5,987	89.5%
平成12年	125,523	30,320	443	104	678	41,549	71,645	1,129	5,270	5,148	90.8%
平成13年	125,523	30,320	443	104	678	41,549	71,645	1,129	5,270	5,148	90.8%
平成14年	126,497	31,505	442	32	533	42,723	78,120	675	2,651	1,763	96.0%
平成15年	128,670	33,029	448	32	594	44,394	78,561	675	2,651	1,763	96.0%
平成16年	129,988	33,029	452	32	852	43,984	80,102	604	2,651	1,763	96.1%
平成17年	131,062	33,776	466	32	629	45,095	80,288	604	2,651	1,763	96.2%
平成18年	133,186	34,682	494	49	641	46,330	81,165	647	2,591	1,763	96.2%
平成19年	133,186	34,682	494	49	641	46,336	81,159	647	2,591	1,763	96.2%
平成20年	134,083	36,070	497	77	592	47,151	81,278	647	2,575	1,763	96.3%
平成21年	134,608	36,466	498	77	592	47,452	81,502	647	2,575	1,763	96.3%

図表一本市における歩道設置延長、市道改良率の推移

資料：宜野湾市土木課

## 7. 道路

◆4m 未満の狭小道路や袋小路道路が存在する地域が市内の各地域において点在して見られる。



図一本市における道路幅員の状況

資料：那覇広域都市計画基礎調査（平成 18 年）

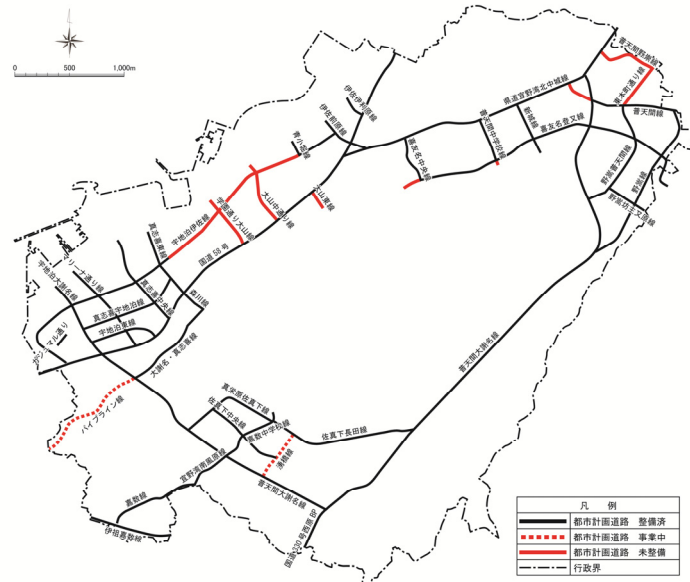
幅員	道路延長(m)	構成比
4m 未満	78,549	24.9%
4m 以上 12m 未満	192,401	60.9%
12m 以上	44,902	14.2%
計	315,851	100.0%

表一道路幅員別延長割合

※那覇広域都市計画基礎調査（平成 18 年）データより図上計測

◆都市計画道路改良率は、市道が約 79%と国道（98%）や県道（97%）と比較して低くなっている。

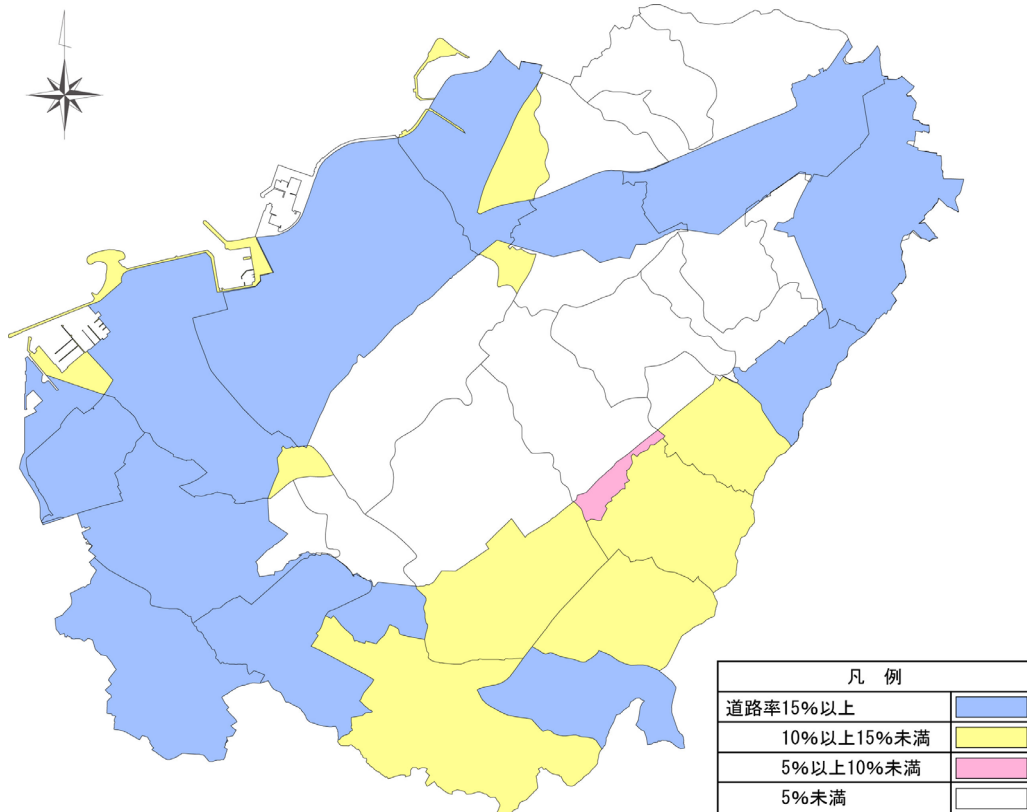
H22.3.31 現在	合計 (km)	国道 (km)	県道 (km)	市道 (km)
計画	50.59	16.88	6.39	27.32
改良済み	44.25	16.57	6.22	21.46
改良率	87.5%	98.2%	97.4%	78.6%



資料：宜野湾市都市計画課

図一 都市計画道路の整備状況

◆市域の東部において、道路率が 15%未満と市の中で低い地域が存在している。



図一 道路率

資料：那覇広域都市計画基礎調査（平成 18 年）

